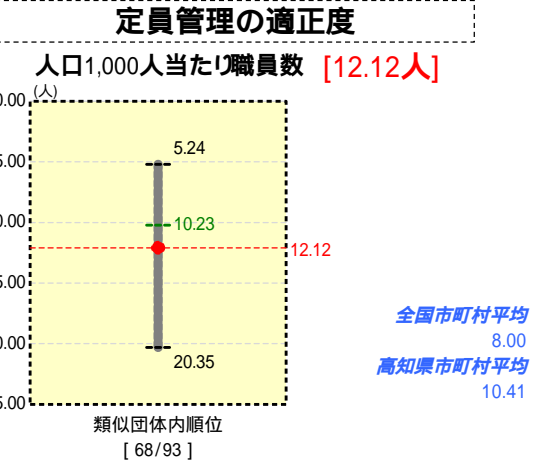
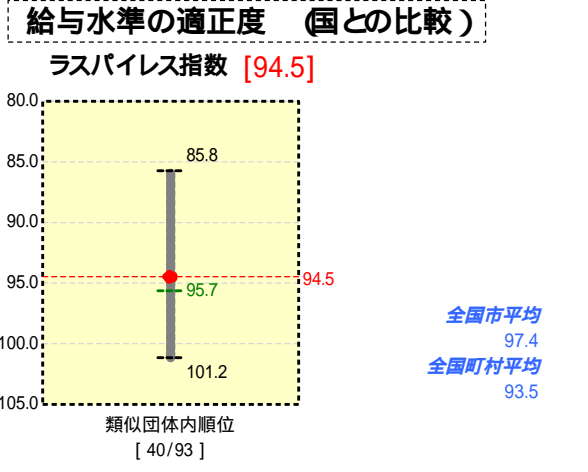
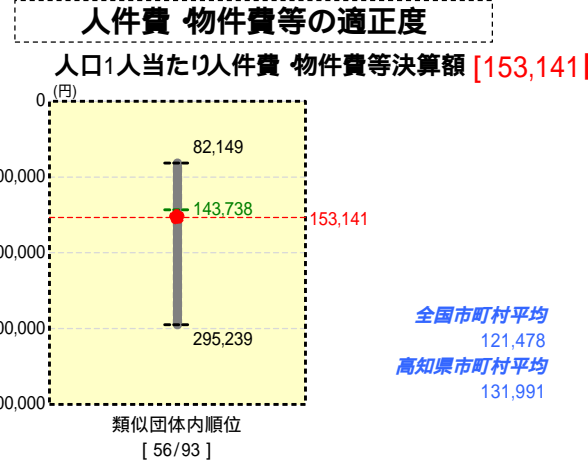
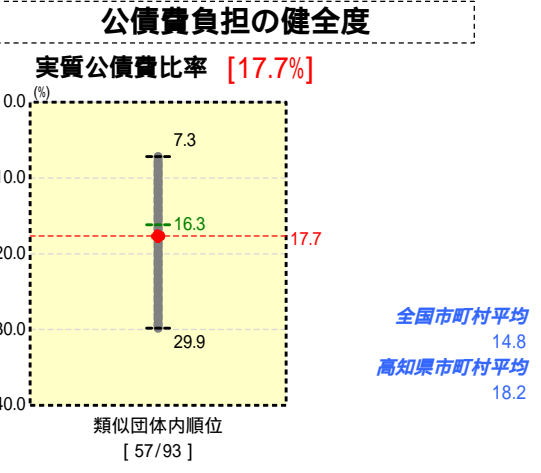
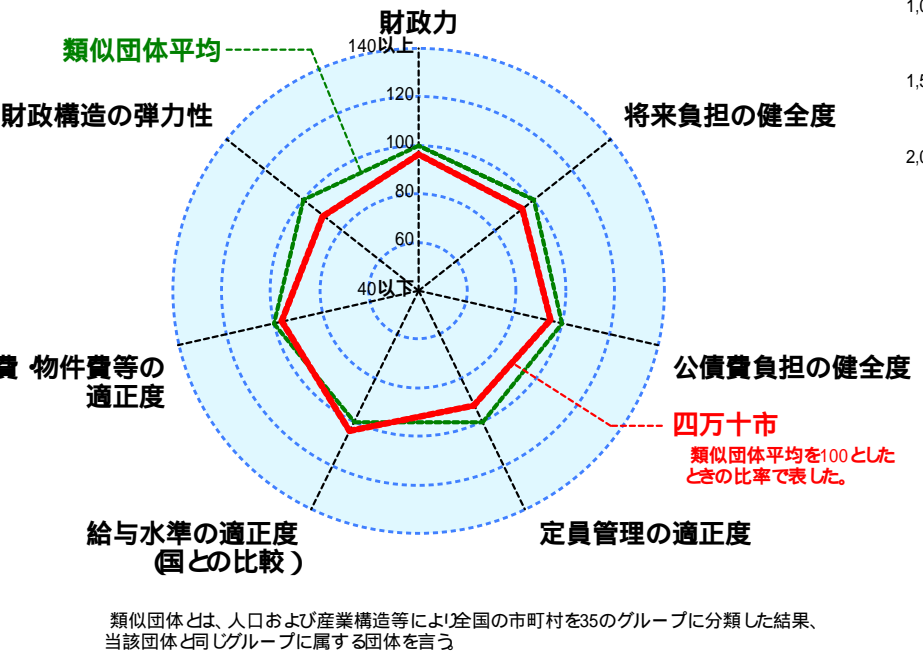
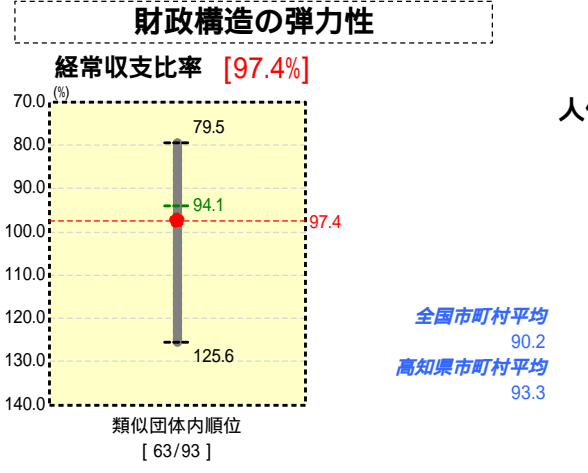
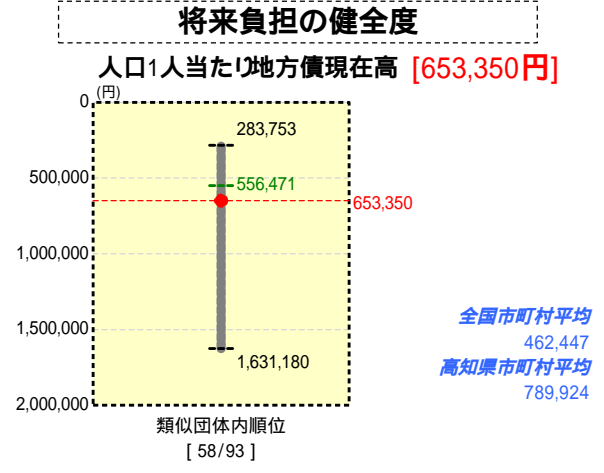
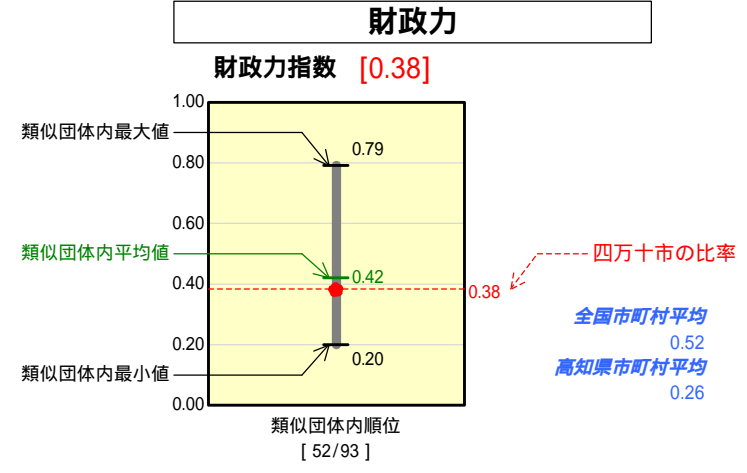


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 高知県 四万十市

人口	37,940 人(H18.3.31現在)
面積	632.50 km <sup>2</sup>
歳入総額	20,078,544 千円
歳出総額	19,957,193 千円
実質収支	57,459 千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

本市は、平成17年4月10日に旧中村市と旧西土佐村の1市1村の合併により誕生した合併新市です。

**財政力指数**  
類似団体平均との比較は、旧中村市では若干上回り、旧西土佐村では大きく下回る状況であったが、合併新市では若干下回った。合併により財政基盤の強化が一定図られたものの、全国平均を上回る高齢化率(17年国勢調査27.0%)、及び景気低迷など、財政を取り巻く環境は厳しく、今後も税の収納率向上対策(6年間で1.1%の向上)等により財政基盤の強化に努める。

**経常収支比率**  
類似団体平均を上回り高い比率となっている。そのため、『行政改革大綱・実施計画』並びに『集中改革プラン』に基づき、職員数の削減(6年間で53人、10%減)、職員給与カット(特別職10%、一般職5%)、ごみ収集業務の全面民間委託を始めとする事務事業の見直しなどにより経常経費の削減に努めている。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
類似団体平均を上回っているのは、人件費が要因。行政面積が広大で保育所数が多く、それら保育所と市民会館、図書館などの施設運営を直営で行っているため、保育所の統廃合・民営化、市民会館や図書館運営の委託化を進めている。

**ラスパイレズ指数**  
『行政改革大綱・実施計画』並びに『集中改革プラン』に基づき職員給与カット、特殊勤務手当の支給凍結により類似団体平均を下回っている。今後は、特殊勤務手当の抜本的見直しなど、より一層の給与の適正化に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
類似団体平均を上回っている。主要要因は、平成12～14年度の大型施設整備(国体関連施設、学校給食施設、四万十いやしりの里など)によるもので、平成15年度から普通建設事業の大幅な削減(40～45%減)と地方債発行額の抑制に努めている。

**【実質公債費比率】**  
類似団体平均を上回った主要因は、平成12～14年度の大型施設整備に加え、幅多広域市町村の一部事務組合で平成13～14年度に実施した、ごみ焼却施設(溶融炉)整備の起債償還に対する負担金によるもの。平成15年度からは普通建設事業の大幅削減と地方債発行額の抑制を行っており、平成18年度をピークに減少と見込まれるが、平成19年度から合併特例債を活用した新庁舎建設、第2給食センター建設などの合併関連の施設整備を計画しているため、他事業のさらなる事業費削減と地方債発行額の抑制に努めていく。

**【人口1000人当たり職員数】**  
類似団体平均を上回っているのは、行政面積が広大で保育所数が多く、それら保育所と市民会館、図書館などの施設運営を直営で行っているため施設関係職員数が多いもので、保育所の統廃合・民営化(国統廃合、1園統廃合)、市民会館や図書館運営の委託化などを進め、職員数削減(6年間で53人、10%減)を図る。